

移植直後から使えます。  
水口施用も大丈夫。

農林水産省登録  
第20993号

自然に学び自然を守る



豆つぶ<sup>®</sup> 除草剤

ショキニー<sup>®</sup>  
水稲用初期除草剤  
250グラム



実物大写真(製剤)

散布がカンタン!  
効きめがいい!



アゼナ



アメリカアゼナ



ホタルイ



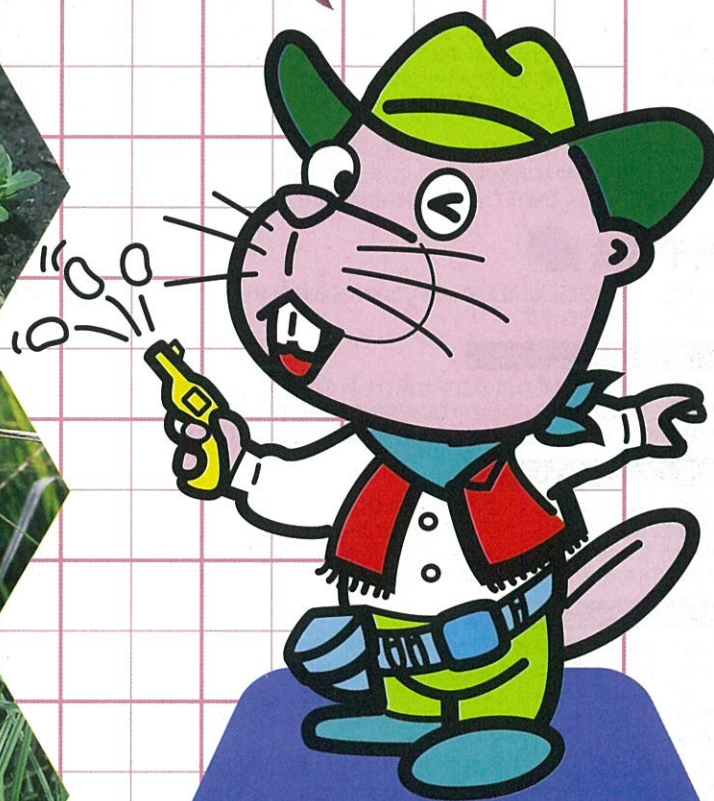
ノビエ



コナギ



ミスガヤツリ



やや深めの水深で散布!!



- 10アール当りの使用量が250gと軽量で、省力的な豆つぶ製剤です。
- 水面に浮かんで自己拡散します。
- 1つぶが大きい(粒径約5mm)ため、ドリフトの心配が少ないです。
- SU剤に抵抗を示すホタルイ、アゼナ類、ミゾハコベ等の雑草に有効です。
- 水口施用や無人ヘリ散布など、多様な方法で散布可能です。

## 適用雑草と使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール 当たり使用量	使用方法
移植 水稻	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ ヘラオモダカ	移植直後～ノビエ1葉期 但し、 移植後30日まで	250g	湛水散布、 湛水周縁散布、 水口施用 又は 無人ヘリコプターによる散布

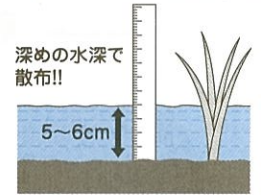
●総使用回数 本剤のみ…1回 プロモプチド剤…2回以内 ベントキサゾン剤…2回以内

## 上手な使い方



散布薬量: 10アール当たり250g (1袋)

- ※散布時は深めの湛水状態で止水にして散布し、散布後3～4日間は通常の湛水状態(水深3～5cm)を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。また、入水は静かに行なってください。
- ※藻類の発生等により本剤の拡散が不十分になることが予想される場合には、水田全面に散布してください。
- ※れんこん、くわい、せりなどの生育を阻害するおそれがあるので、これらの作物の生育期に隣接田で使用の場合は十分注意してください。
- ※ショキニー250グラムは中期剤や一発処理剤との体系で使用する初期剤で、ノビエの1葉期までに散布してください。
- ※水田雑草は気象条件や栽培条件などにより発生時期や生育スピードが異なる場合がありますので、登録範囲内のなるべく早い時期に散布してください。
- ※無人ヘリコプターによる散布で使用する場合は、河川、養殖池等に飛散しないよう特に注意してください。

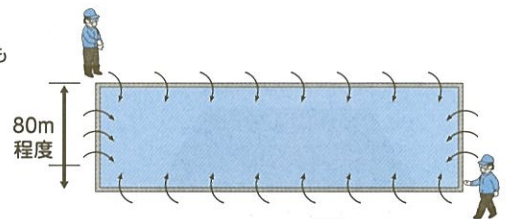


## 使用方法

- 本剤は水面浮遊型の自己拡散剤で、優れた水中拡散性を有します。従来の粒剤のような均一散布でなくても優れた効果が発揮できます。

### ひしゃく散布

- ひしゃく状の散布器具(釣り具のコマセ用ひしゃくが最適)で、畦畔から豆つぶを投げ入れます。
- ひと振り約25gなので、10a当り10回の投入で散布完了です。
- 短辺が80m程度までの圃場では、あぜからのみの散布が可能です。



### 水口施用

- 圃場の水深を約2cmにして、水尻をしっかりと閉じてください。
- 水口を開き、薬剤を投入し、流入水の勢いとともに水田全体に拡散させてください。
- 田面水が通常の湛水状態(水深5cm程度)に達したら、水口をしっかりと閉じ、田面水があふれ出ないように注意してください。
- ※水口が数カ所ある大きな水田では、薬剤を分割して、それぞれの水口に薬剤を投入してください。

### 無人ヘリコプターによる散布

- 散布は使用機種の使用基準に従って実施してください。
- 専用の粒剤散布装置によって湛水散布してください。
- 事前に薬剤の物理性に合せて粒剤散布装置のメタリング開度を調整してください。
- 散布薬剤の飛散によって他の植物に影響を与えないよう散布区域の選定に注意し、当該水田周辺部への飛散防止のため散布装置のインペラの回転数を調整し、圃場の端から5m以上離して圃場内に散布してください。
- 水源池、飲料用水などに薬剤が飛散、流入しないように十分注意してください。



### 手まき散布、背負い式動力散布機での散布もできます

本資料は平成29年8月現在の知見に基づき作成しております。

- 使用前にはラベルをよく読んでください ●ラベルの記載以外に使用しないでください ●小児の手の届く所に置かないでください。